

All Japan High School Forum 2024

2024 年度全国高校生フォーラムに出場！



12月15日(日)、国立オリンピック記念青少年総合センターにて「2024 年度韓全国高校生フォーラム」が開催され、本校から1年生4名が出場しました。このフォーラムは、文部科学省が実施しているWWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業及びスーパーグローバルハイスクール(SGH)ネットワーク(SGHN)に参加する高校生が、日頃取り組んでいるグローバルな社会課題の解決方法や提案等をポスターを用いてプレゼンテーションする（ポスターセッション）とともに、生徒交流会にてディスカッションを行うというものです。いずれもすべて英語で行われ、北は北海道、南は沖縄、そして台湾の113校の高校生が一堂に会しました。

非常に優れたプレゼンテーションや活発なディスカッションに大いに刺激を受け、自身の成長に繋がる貴重な経験となりました。

【参加生徒】 1年 江川 茉那 寺井 敦基 新田 彩乃 三原 菜結



ポスター発表要旨

OUTLINE Group G Session①~③ (1st half) AM10:25~

G1 和歌山県立日高高等学校

日本が救う難民、難民が救う日本 ～キーワードは農業～

深刻さを増している日本の過疎化問題。それによる耕作放棄地の増加は、私たちの地域でも著しく、農業の将来を危うくしている。一方、世界では紛争や戦争、政治不安などにより難民が増えている。様々な国で難民を受け入れようとする動きがあるが、現在、世界における難民の数は1億人を超えていると言われており、厳しい状況は変わらない。彼らを救い、同時に彼らに日本を救ってもらうという双方WIN-WINになる方策を、農業を軸に考える。

Wakayama Prefectural Hidaka High School

Japan Saves Refugees, and Refugees Save Japan: The Keyword is Agriculture

The problem of depopulation in Japan is getting more serious, and this is behind the rise in abandoned cultivated lands. On the other hand, the number of refugees has increased remarkably due to conflict, war and political instability all over the world. Despite the movement to accept them in various countries, it is said that there are more than 100 million refugees in the world now. Therefore, we will consider the measures that will be a win-win policy for both refugees and Japan at the same time, with a solution centered on agriculture.

準備段階で情報を集める際には大阪出入国管理局の方に協力いただき、難民の方の知識や情報を教えていただいたり、農家の方にインタビューをしたりして実際の意見を聞いて提案を考えました。農家の方は海外の人に対してあまり良い印象を持っていないことがわかりました。しかし、フィリピン、スリランカ、フランス、イギリスの方々にアンケートを取った結果、「日本にきたい」と思っている人がほとんどでした。そこで日本人の海外の人に対する印象を変えることができればお互いにお互いを受け入れると考え、次の提案を行いました。「日本の農家の家に難民の方を受け入れ、農業を通して日本人の海外の人に対する偏見や先入観をなくす取り組み」です。この提案は何度も話し合って話がみ合えなくなったり、時に言い合いになったりしたこともありましたが、何とか話をまとめて一つの意見にすることができました。

江川

このイベントで大きなインプレッションを受けたのは、参加した皆さんの着眼点の面白さと、洗練されたプレゼンテーション能力です。私達は、耕作放棄地と難民の増加が深刻な問題になっていることを提起しました。一方、面白い発表では、身近に感じられる課題にデータや統計を取って、解決案を提示していました。その発想や、実験に至るまでの動機が非常に印象的でした。日頃から、家族や友達、クラスメートの小さな悩みに寄り添って、一緒に解決できるようになりたいです。また他の参加した皆さんの話し方は、本当に素晴らしいかったです。英語の流暢さは言うまでもなく、表情や抑揚には本当に脱帽しました。自分と彼らの違いをしっかりと見極め、自分の成長に繋げていこうと思います。

寺井

今回は予選通過の8校には入れず残念な結果でしたが、今までの努力が報われたような、とてもすっきりした気分になりました。生徒交流は他校の生徒と組んで社会の幸福について英語で話しました。自分にはわからない単語が飛び交っていて、雰囲気や内容のみ取って話していたので、もっと英単語を覚えないと、強く感じました。周りのレベルの高さを直に感じ、もっと頑張ろうと思うことができたのでいい機会になりました。

新田

全国高校生フォーラムへの参加は私に大きな刺激を与えました。今では「行って良かったな」ととても感じています。全国各地から来た高校生の素晴らしい発表を自分の目で見て、その空気感を感じることができたことは、今の自分にとって大変大きな成果となりました。また、様々な地域の高校生たちともディスカッションを通して交流することができました。今後もこのような機会があれば、失敗を恐れず挑戦し続けたいと思います。

三原